

令和7年度 なんぷ〜香房事業計画書

【就労継続支援（B型）事業】

第1 基本方針

障がい福祉サービス事業所なんぷ〜香房は、障がいのある方々が自分の能力を最大限に発揮し、地域社会において積極的な社会参加やご利用者一人ひとりの障がい特性に配慮した就労支援サービスを提供することで、ご利用者の自立と社会の一員としての役割を果たすことができるよう支援体制を整備します。

また、店舗のリニューアルから2年が経過した中では、就労環境の向上に伴い工賃の増額が進んでいる一方、増産体制の構築が課題であることから生産能力の更なる向上と労働力の確保に努めるとともに持続可能な対応を推進します。

さらに、近年の社会情勢として、物価高騰が続いており生産活動において大きな影響があることを踏まえ、節約や節減を意識した対応を継続するとともに商品や価格等の見直しをとおして、安定かつ効率的な事業運営に努めます。

つきましては、令和7年度の重点項目は以下のとおりとします。

1 個別支援の強化

障がいを持つご利用者が自分らしく生き、積極的な社会参加が促進出来るよう各ご利用者の障がい特性に応じた個別支援計画の策定と実践に努めるとともに、定期的なアセスメントをとおしてニーズの変化に応じた柔軟な対応を図ります。

2 工賃増額に向けた体制整備

来客者数の増加に対応出来るよう生産プロセスの見直しと必要な改善を図るとともに、新たな設備と技術の導入や製造担当職員の確保を進め生産効率の向上からご利用者へ支給する工賃額の維持、増額に努めます。

また、ご利用者の職業能力向上を目的とした勉強会や多様な支援課題に対応するために新たな支援プログラムの検討と実践を推進します。

3 地域貢献と社会参加の推進

すべての人々が共に暮らし、互いに支え合う社会の実現に向けて地域のイベントや文化、その他の活動等への参加を奨励し、ご利用者が地域社会に積極的に関わる機会を整備します。

4 安定した事業運営と業務効率の追求

予算の管理と物価高騰に伴うコストコントロールを徹底することで財務状況の健全化を図るとともに、業務プロセスを見直し必要に応じて改善を行うなど社会情勢を考慮した効率的な事業運営に努めます。

5 就労選択支援事業の対応検討

令和7年10月から就労選択支援事業が施行される事に伴い、高等養護学校等からの利用希望者の受入れフローが変更となることから、当該事業の対応に向けた事業内容の点検や関係機関との連携を強化し、利用希望者がスムーズになんぷ〜香房の利用が開始出来るよう体制整備を進めます。

6 感染症及び安全対策の強化

ご利用者が安全かつ安心して生活できるよう自然災害や感染症に対するBCP（事業継続計画）の見直しや実践を想定した訓練等を計画し、ご利用者及び職員の安全管理に対する意識を向上に努めます。また、防犯対策として防犯カメラやセンサーライトの増設を検討します。

第2 組織と利用者状況

1 組織の概要

ご利用者の障がい特性を踏まえたサービスと実践を進めるとともに、安定的な事業経営を遂行するために、次の組織体制で進めます。

(1) 総務係

総務係は、事業所運営の庶務、会計、施設管理を行い、ご利用者への間接的な支援と経営管理を行います。

(2) 地域・就労支援係

地域支援係は、地域生活者に対して、生活場面における支援を中心に質の高いサービスを提供します。就労係は、就労（実習）等のフォローアップや企業との調整等を行います。

(3) 生産係

生産係は、授産事業を通してご利用者のスキルアップや就労に対する意識向上が図れる様に支援を行うとともに、生産品の向上を図ります。

(4) 職員配置状況（令和7年 4 月 1 日現在）

区 分	所 長	サビ管	地域支援係 (生活支援員)	生産就労係 (職業支援員等)	パート (職業支援員)	総務 (事務員)	計
男 性	1	(1)	3 (2)	7			1 1
女 性			4 (2)	3	5	1	1 3
計	1	(1)	7 (4)	1 0	5	1	2 4

※ () は兼務職員

2 会議、委員会等の体制

(1) 会議

次の会議を設置し、利用者支援のサービス向上に努めます。

- ・ 職員会議 (全職員)
- ・ 生産就労会議 (生産就労係担当職員)
- ・ ケース会議 (支援係職員)
- ・ 食事サービス会議 (支援係担当者、主任以上)
- ・ 役職者会議 (主任以上)

(2) 委員会

事業運営と環境等の維持のため、次の委員会を設置します。

- ・ 生活委員会 (支援係担当者・ご利用者)
- ・ 衛生管理委員会 (支援係担当者)
- ・ 防犯・防災対策委員会 //
- ・ 虐待防止委員会 //

(3) 研修事業

- ・ 施設内研修会 (随時)
- ・ 関係機関・団体・その他の研修参加 (随時)
- ・ 研究調査・ケース研究 (随時)
- ・ 施設外研修 (随時)

3 ご利用者の状況（令和7年4月1日現在）

（1）男女別状況

区 分	利用者数
男 性	22
女 性	20
計	42

（2）年齢別

区 分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高 年齢	最少 年齢	平 均
男 性	0	2	4	4	3	5	4	77 歳	22 歳	51.8 歳
女 性	2	1	1	2	6	3	5	76 歳	18 歳	53.5 歳
計	2	3	5	6	9	8	9			52.6 歳

（3）障がい別

区 分	てんかん	自閉傾向	統 合 失調症	身 体 障がい	ダウン症	視 覚 障がい	聴 覚 障がい	内部疾患	体幹機能	強度行動 障がい	心因反応	その他
男 性	2		4				2		1			1
女 性	3	1	4	2								1
計	5	1	6	2			2		1			

（4）障害支援区分等（療育手帳）

区分	障がい程度				障害支援区分							合計
	A	B	無し	計	非該当	1	2	3	4	5	6	
男性	5	17		22	1	0	1	13	5	1	1	22
女性	4	16		20	1	0	1	10	5	2	1	20
計	9	33		42	2	0	2	23	10	3	2	42

第3 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 就労継続支援B型事業 定員35名 (現員数42名)

(2) 生産活動

製パン事業 レギュラーパン製造、災害備蓄用パン製造、焼菓子の製造、受託製造

珈琲焙煎事業 焙煎珈琲豆の製造販売、受託品販売

配食事業 宅配弁当事業、町社協配食事業受託

施設外実習 町内数ヵ所

2 利用者の活動時間 1日 6時間以内とする。

3 目標工賃額 1人当たり月額 昨年度以上 を目標とする。

4 運営方針

(1) 総務係

項 目	事業内容	具体的な内容
事業運営	健全な財政基盤と事業運営	障がい福祉サービスの基準を遵守し、訓練等給付費及び各種加算等の請求について適正に対応します。また、適正な予算執行、とリスク管理に努めることで持続的な事業運営を推進します。
	増産体制の構築	増産体制の構築を推進するために生産プロセスの見直しと必要な改善を図るとともに、新たな製造機器や技術の導入、製造担当職員の確保に努めます。
	職員・ご利用者の健康管理と疾病予防	年2回(職員は年1回)、定期健康診断及び生活習慣病検診を実施するとともに、異常等があれば早期に通院等の対応を行います。また、職員の健全な心身の維持・向上のため、効率的なサービス提供に努めます。また、ご利用者に対して健康啓発活動や健康に関する学習会を企画し健康に関する知識や疾病等予防の重要性について意識向上を図ります。
	防災・防犯体制の強化	ご利用者が安心して活動に参加できる環境の構築を更に推進するために、BCPの見直しや実践を想定した訓練を定期的に行います。また、防犯体制の強化を目的として防犯カメラやセンサーライトの増設を検討します。
	施設等の保全管理	ご利用者の就労支援環境の維持のため、定期的な建物内外の点検をとおして、破損や劣化などを認知した場合は必要に応じて適宜修繕や改修を行います。
	食事サービスの質の向上	食事サービス会議をとおして給食委託業者と情報共有を図るとともに、ご利用者へ嗜好調査を実施し食事ニーズの把握からご利用者に楽しんでいただける食事サービスの提供に努めます

(2) 地域支援係

地域支援	権利擁護及び虐待防止等の取り組み強化	権利擁護と虐待防止の取り組みとして、定期的に合理的配慮や身体拘束などについて職員会議等で確認する機会を設けるとともに虐待防止委員会やケース会議をとおして、支援の質の向上と不適切な支援の防止に努めます。
	意思決定支援の推進	ご利用者の意思決定支援については、ご利用者との面接を基本として抽出された希望や課題等に対して、自立した日常生活が営むことができるように適切な支援内容を検討し実践します。また、支援上困難を抱える場合については、当該利用者の意思及び選好並びに判断能力等を勘案し丁寧な対応に努めます。
	感染症予防対策	衛生管理員会の開催や感染症マニュアル、BCP等を基により実践かつ効果的な感染予防対策を推進します。また、定期的に感染対策に必要な衛生用品の在庫確認と適正管理に努めます。

地域支援	家族会の事務局支援	家族会及び各種なんぷ〜香房及びG Hびあの事業が円滑に実施出来るよう家族会と緊密に連携を図りながら事業推進します。
	余暇活動支援の強化	ご利用者一人ひとりが年間を通して生きがいのある生活が送れるようご利用者の障がい特性や年齢に配慮した余暇支援プログラムを定期的に計画します。

(3) 生産就労係

就労支援サービス	障がい特性や年齢を考慮したサービス提供	就労継続支援サービスの提供は、個別支援計画に基づき、ご利用者個々の障がい特性や年齢に配慮した支援に努めます。具体的には、障がいの種類や程度、年齢に応じて適切な活動内容や環境を提供し、就労が継続できるようサポートします。
	就労スキルの向上	ご利用者の職業能力向上を目的とした勉強会の実施や多様な支援課題に対応するための新たな支援プログラムの導入と実践を検討します。
	施設外支援の取り組み	ご利用者が継続して職場実習へ参加できるよう実習先等への訪問や連絡、実習終了後のフォローなどを定期的に行います。
工賃向上	工賃額向上計画の見直し	目標工賃額の達成に向けて、現在策定している工賃向上計画について見直しを実施し、生産プロセスの見直しと必要な改善を図り安定的な工賃支給を目指します。
	商品価格の見直しとコスト管理	現商品の価格を精査し適正な価格設定をとおして、工賃額の増額に努めます。また、原材料や資材並びに光熱水費等が値上がりしていることでは、工賃向上を後押し出来るようコストコントロールを徹底した取り組みを推進します。
	各種授産事業の見直しと検討	各種授産事業について利益率が低い事業については、就労支援事業の持続的な成長と工賃増額の観点から事業内容の評価と見直しを進めるとともに必要に応じて改善や人員配置の再配分を検討します。
衛生管理	感染症対策の徹底と実践	ご利用者が安全かつ安心して生活できるよう感染症に対するBCP（事業継続計画）の見直しや実践を想定した訓練等を計画し、ご利用者及び職員の衛生管理に対する意識向上に努めます。
	HACCPによる衛生管理手法の徹底	HACCPの衛生管理手法に基づいた適正な衛生管理行程を遵守し安全な食品の提供に努めるとともに、関連する研修会の参加を積極的に推進します。
授産事業	製パン事業	近年の製パンに関する需要予測から、増産体制の強化は必須であることから製造に必要な設備（分割丸め機、冷凍庫等）の増強と担当職員の確保、需要予測に基づいた適正な生産計画をとおして体制整備を更に推進します。また、来客数の増加に対応出来るよう陳列商品の見直しや店舗担当者の育成、スキル向上を目的とした研修会の参加を検討します。
	焼菓子事業	焼菓子のメニューについて型や配合、分量などの見直しを進め、より商品価値の高い新商品の開発を進めます。また、外部の委託先へ積極的に商品を宣伝します。
	珈琲焙煎事業	コーヒーマシンの利用率を上げるとともに、飲料メニューの見直しなどを進め収益の増加に努めます。
	配食事業	商品の宣伝や顧客の要望などを踏まえたメニュー提供など注文数の維持や向上に向けた取組みを継続的に行います。
地域貢献	地域公益活動の推進	事業所に対する理解の促進と地域貢献を更に推進するために、各種セールの実施やパン教室の開催、地域イベント等へ積極的に参加します。

別紙1

障がい福祉サービス事業所 なんぷ～香房・共同生活援助事業所ぴあ
令和7年度 年間主要行事予定計画書

月日		施設行事	地域行事 施設協会	保健衛生	その他(自治活動等)
4月	1日	辞令交付式・新年度体制・虐待防止合同研修会			
	12日			緑陽台歯科検診	
	15日～17日	なんぷ～香房 森のパン屋18周年記念セール			
	18日			前期健康診断	
	23日				WS総会
5月	3日	春季一時 帰省日			
	6日	春季一時 帰宅日			
	12日	春季外出 I			
	26日	春季外出 II			
	未定				家族会総会
	随時		各町内会花見		
6月	2日	春季外出 III			
	16日	春季外出 IV			
	未定	普通救急救命講習	北・北海道知的協ソフトボール大会		
		合同防犯研修	全道知的協パークゴルフ大会		
7月	5日	第40回『スポ・レク交流会』			
	未定	第49回かなやま湖湖水祭り(見学)	道北施設協パークゴルフ大会		
8月	14日	夏季一時 帰省日			
	17日	夏季一時 帰宅日			
	21日	合同花火大会(からまつ園前庭)			
	25日	秋季外出 I			
	未定				ご利用者学習会
9月	1日	防災訓練(炊き出し・地震想定訓練)			
	6日	令和6年度『大乗会ふれあいフェスタ』			
	8日	秋季外出 II			
	17日		幾寅神社祭(見学、獅子舞)		
	29日	秋季外出 III			
	未定	道の駅感謝祭	道北スポーツ交流会		
10月	6日	秋季外出 IV			
	22日			エキノコックス検診	
	23日			胃がん検診	
	30日～31日	ハロウィンセール			
	未定	なんぷ～香房研修旅行 第1班	道北知的協卓球大会	後期健康診断(ご利用者のみ)	
11月				感染症対策月間(3月まで)	安全運転月間(3月まで)
	11日			婦人科検診	
	未定	普通救急救命講習 なんぷ～香房研修旅行 第2班		インフルエンザ予防接種	
12月	3～9日	『障がい者週間』普及啓発事業(セール)			
	17日				WS主催クリスマス会
	23日～25日	クリスマスケーキ販売			
	31日	年越し忘年会(各GH) 冬期一時帰省 帰省日			WS年越し忘年会(各GH)
1月	1日	新年交流会(各GH)			WS新年交流会(各GH)
	3日	冬期一時帰省 帰宅日			
	未定		各町内会新年会		
2月	12日～14日	バレンタインデーセール			
	未定	法人研究発表会	あーと展		
3月	1日～3日	ひなまつりケーキ販売			
	未定				
	未定	防災訓練(雪害想定訓練)			
その他	年間	避難訓練(火災2回以上、防災2回以上)			
	毎月				ご利用者の希望行事
	随時	パン教室、余暇活動	その他町内会行事		

- ※ 一時帰宅は、新型コロナウイルス感染症の状況等により日程を変更する場合があります。
 ※ 開催日程は、変更が生じる場合があります。

令和7年度 障害福祉サービス事業所なんぷ〜香房（就労継続支援B型事業所）組織機構図

令和7年4月1日現在
職員： 24名

